

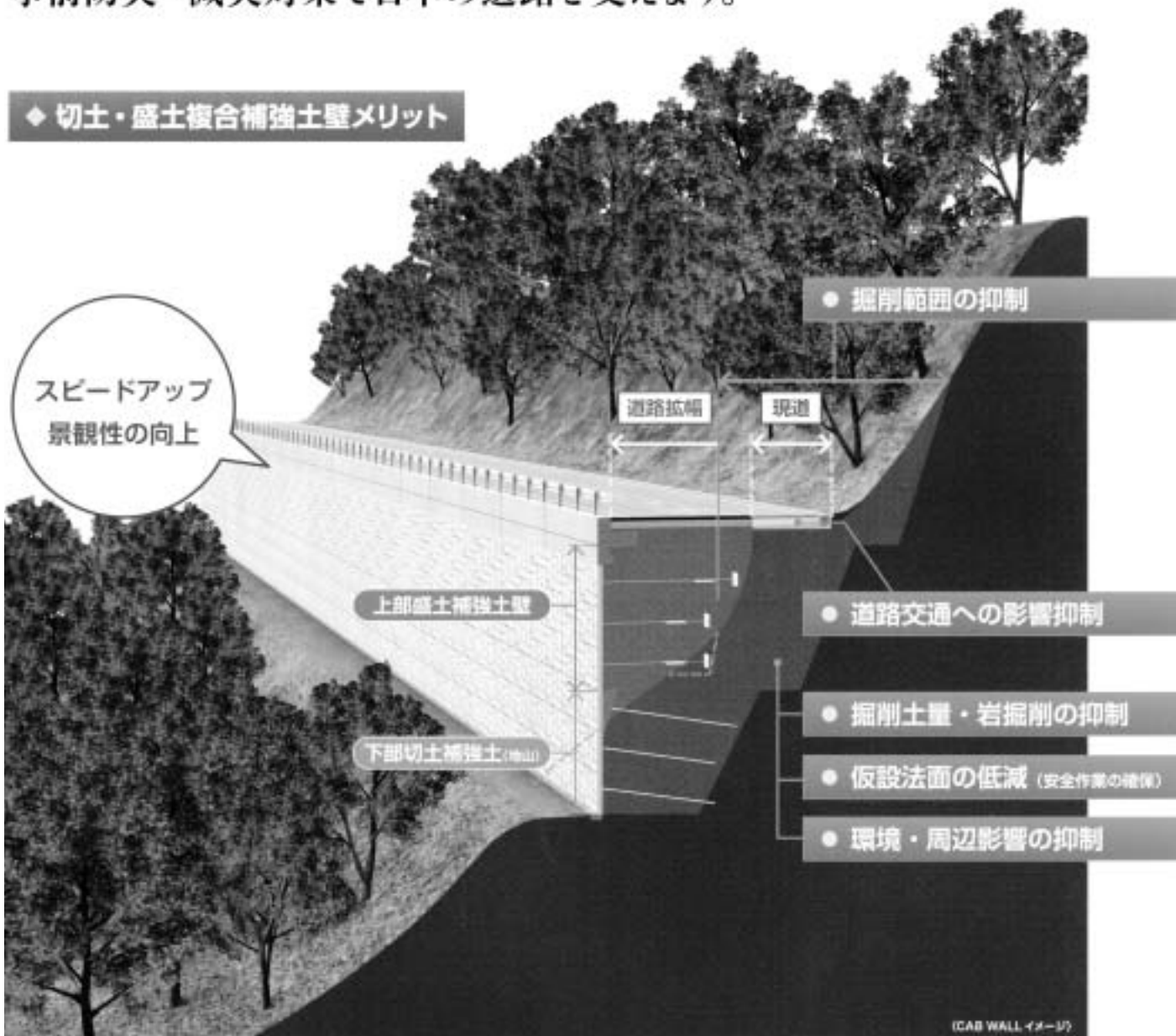
切土・盛土複合補強土壁

CAB WALL

CUT AND BANK

「国土強靱化」「道路拡幅工事」に。
事前防災・減災対策で日本の道路を支えます。

◆ 切土・盛土複合補強土壁メリット



スピードアップ
景観性の向上

● 掘削範囲の抑制

道路拡幅

現道

上部盛土補強土壁

● 道路交通への影響抑制

下部切土補強土壁

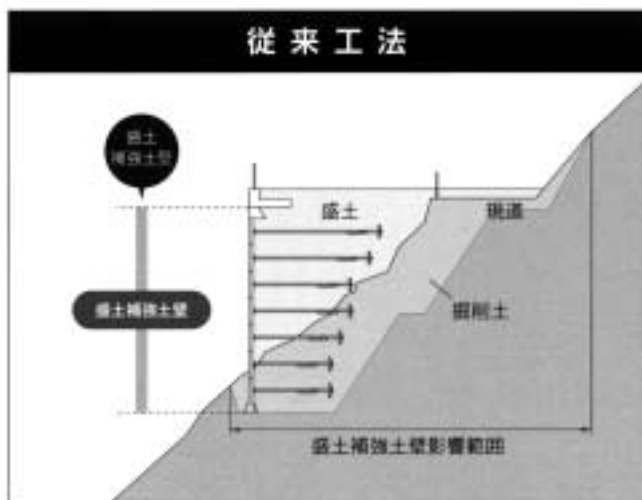
● 掘削土量・岩掘削の抑制

● 仮設法面の低減 (安全作業の確保)

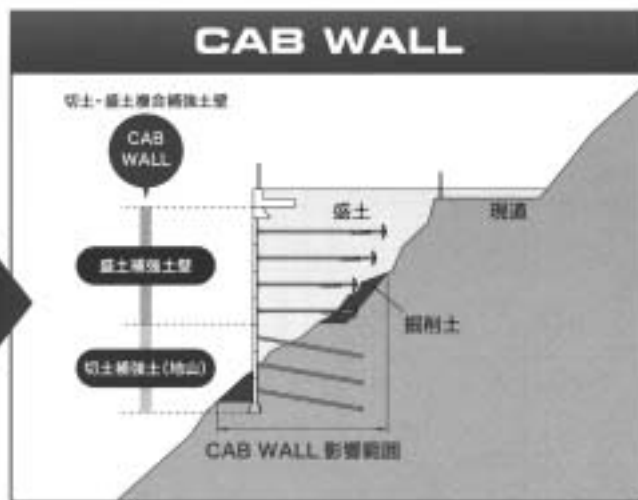
● 環境・周辺影響の抑制

(CAB WALL イメージ)

下部地盤を切土補強土(地山)で安定化したうえで上部に盛土補強土壁を設置し、地山と盛土を一体的な構造物とする「切土・盛土複合補強土壁」を提案します。



現道を拡幅する場合、盛土補強土壁を計画すると、工事影響範囲が大きく、掘削土量も膨大となります。また、現道を通り止もしくは幅員減少など、利用者との調整が必要になります。



CAB WALLの場合、掘削土量と盛土土量を低減し、工事影響範囲を小さくすることができます。また現道への支障を最小減にでき、スムーズで安全な工事が可能になります。

◆ 切土・盛土複合補強土壁の考え方

▶ 構造パターン

- 上部荷重(活荷重等、盛土部自重)を地山部で抑止可能
 - ⇒ 下部地盤は補強され安定した地山的挙動を示す(崩壊性が無く、壁面への土圧は小さい)
 - ⇒ 上部補強と下部補強は個別に安定を保持

⇒ 上部盛土補強を支持する下部切土補強土(地山)

